

法令試験問題

事業者名 又は 氏名		採点	
------------------	--	----	--

(注意事項)

1. 本問題中「事業者」とあるのは、「一般貸切旅客自動車運送事業者」を指します。
2. 設問の文中には、条文の一部を省略しているものもあります。

【○×問題】

次の文章で正しいものに○印、間違っているものに×印を記入しなさい。

- (1) 1年以上の懲役又は禁錮の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から1年を経過していれば、一般貸切旅客自動車運送事業の許可を受けることができる。
()
- (2) 道路運送法に規定されている一般貸切旅客自動車運送事業の事業計画には、事業用自動車の長さ、幅、高さについても記載することになっている。
()
- (3) 事業者は、事業用自動車に車掌を乗務させる必要はない。
()
- (4) 旅客自動車運送事業者は前年四月一日から三月三十一日までの期間に係る事業報告書を提出しなければならない。
()
- (5) 旅客自動車運送事業者は、その住所が変更になった場合、その所有する事業用自動車について、道路運送車両法の規定に基づき、変更登録の申請をしなければならない。
()
- (6) 旅客自動車運送事業者が公表すべき輸送の安全にかかわる事項について、下記の中で正しい事項には○印を、そうでない事項には×印を()内に記入しなさい。
 - ①輸送の安全に関する基本的な方針 ()
 - ②輸送の安全に関する目標又はその達成状況 ()
 - ③自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計 ()

- (7) 一般貸切旅客自動車運送事業に従事する自動車運転者の1日の拘束時間は、13時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、最大拘束時間は18時間とすること。この場合において、1日についての拘束時間が15時間を超える回数は1週間につき2回が限度である。
()
- (8) 事業者は、旅客に対し収受した運賃又は料金の割戻しをしてはならない。ただし、天災の場合はこの限りではない。
()
- (9) 事業者は、乗務しようとする運転者に対して点呼を行い、事業用自動車の運行の安全を確保するために必要な指示を与えなければならない。
()
- (10) 一般旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の車庫の収容能力を15㎡広くした場合、車庫の位置に変更が無ければ、事業計画の変更の手続きは必要がない。
()
- (11) 事業者は、その事業用自動車非常信号用具、非常口又は消火器を備えたものであるときは、当該自動車の乗客に対し、これらの器具の取扱いについて適切な指導をしなければならない。
()
- (12) 事業者は、年齢、運転の経歴その他政令で定める一定の要件を備える者でなければ、その事業用自動車の運転をさせてはならない。ただし、当該運行が旅客の運送を目的としない場合は、この限りではない。
()
- (13) 事業者の運行管理者が行わなければならない事項として、法令で定められた事項には○印を、そうでない事項には×印を()内に記入しなさい。
- ①乗務員台帳を作成し、営業所に備え置くこと ()
 - ②自動車事故報告規則に基づく、事故報告書を提出すること ()
 - ③事業用自動車の運転者に法令で定める適性診断を受けさせること ()
 - ④運行管理規程を作成すること ()
 - ⑤運送引受書を交付すること ()
- (14) 一般旅客自動車運送事業者（路線定期運行を行う一般乗合旅客自動車運送事業者を除く。）は、その事業を休止し、又は廃止しようとするときは、その三十日前までに、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。
()

【選択問題】

次の文章の（ ）の中にあてはまる言葉を下から選び、記号を記入しなさい。

(1) ①この法律は、貨物自動車運送事業法と相まって、道路運送事業の運営を適正かつ合理的なものとする事により、道路運送の利用者の（ ）を保護するとともに道路運送の総合的な発達を図り、もって（ ）を増進する事を目的とする。※文中の「この法律」とは、道路運送法のことです。

②一般旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車転覆し、（ ）を起こしその他国土交通省令で定める（ ）を引き起こしたときは、遅滞なく事故の種類、原因その他国土交通省令で定める事項を国土交通大臣に届出なければならない。

③一般旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の（ ）の確保に関する業務を行わせるため、国土交通省令で定める（ ）ごとに、運行管理者資格者証の交付を受けている者のうちから、（ ）を選任しなければならない。

- | | | | | |
|-----------|----------|----------|----------|----------|
| ア. 所有権 | イ. 運行管理者 | ウ. 出発地 | エ. 保安基準 | オ. 運行の安全 |
| カ. 技術の向上 | キ. 火災 | ク. 利益 | ケ. 迅速 | コ. 走行距離 |
| サ. 重大な事故 | シ. 運営を適正 | ス. 目的地 | セ. 点検 | ソ. 継続 |
| タ. 営業所 | チ. 公害の防止 | ツ. 適切な時期 | テ. 公共の福祉 | ト. 保護 |
| ナ. 乗務員の服務 | | | | |

(2) 旅客自動車運送事業者は、旅客又は公衆に対して、（ ）かつ懇切な取扱いをしなければならない。

- ア. 公平 イ. 親切 ウ. 丁寧

(3) 旅客自動車運送事業者は、その使用する自動車について重大事故があった場合には、（ ）以内に自動車事故報告書を国土交通大臣に提出しなければならない。

- ア. 十五日 イ. 三十日 ウ. 六十日

(4) 大型自動車使用者等は、整備管理者を選任したときは、その日から（ ）以内に、地方運輸局長にその旨を届け出なければならない。

- ア. 十日 イ. 十五日 ウ. 三十日

(5) 事業者は、運賃又は料金を収受したときは、運賃又は料金の（ ）を記載した（ ）を発行しなければならない。

- | | | | |
|----------|---------|---------|----------|
| ア. 領収証 | イ. 公示額 | ウ. 支払時期 | エ. 運送引受書 |
| オ. 運行指示書 | カ. 計算基礎 | キ. 適用方法 | ク. 見積額 |

(6) 旅客自動車運送事業者は、() 以内の期間を定めて使用される者を事業用自動車の運転者として選任してはならない。

ア. 二月 イ. 六月 ウ. 一年

(7) 貸切バスの運転者は、事業用自動車の故障等により踏切内で運行不能となったときは、速やかに旅客を誘導して退避させるとともに、() に対し適切な防護措置をとらなければなりません。

ア. 旅客 イ. 列車 ウ. バス

(8) 乗務記録の保存期間は () 間となっている。

ア. 6ヶ月 イ. 1年 ウ. 2年

【筆記問題】

(1) あなたが経営しようとする一般貸切旅客自動車運送事業は、道路運送法においてどのような事業とされているか正確に記入しなさい。

答. _____

(2) 次の文章の () の中にあてはまる語句を回答しなさい。

一般貸切旅客自動車運送事業者は、運送の申込者に対して当該運送の引受けに際し () 又はこれに類するものを支払った場合には、その額を記載した書類を、前項の運送引受書の写しとともに、当該運送の終了の日から一年間保存しなければならない。

答. _____

(3) 次の文章の () の中にあてはまる語句を回答しなさい。

旅客運送事業者は、事業用自動車の () ごとに、自動車の点検及び清掃のための施設を設けなければならない。

答. _____

(4) 次の文章の () の中にあてはまる語句を回答しなさい。

自動車の使用者は、自動車の走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に、国土交通省令で定める技術上の基準により、灯火装置の点灯、制動装置の作動その他の日常的に点検すべき事項について、() により自動車を点検しなければならない。

答. _____

(5) 次の文章の () の中にあてはまる語句を回答しなさい。

初任運転者以外の者であって、直近1年間に当該一般貸切旅客自動車運送事業者において運転の経験（実技の指導を受けた経験を含む。）のある貸切バスより大型の車種区分の貸切バスに乗務しようとする運転者を() という。

答. _____

法令試験問題 模範解答

事業者名 又は 氏名		採点	
------------------	--	----	--

(注意事項)

1. 本問題中「事業者」とあるのは、「一般貸切旅客自動車運送事業者」を指します。
2. 設問の文中には、条文の一部を省略しているものもあります。

【○×問題】

次の文章で正しいものに○印、間違っているものに×印を記入しなさい。

1点×20＝20点

- (1) 1年以上の懲役又は禁錮の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から1年を経過していれば、一般貸切旅客自動車運送事業の許可を受けることができる。(×)

- (2) 道路運送法に規定されている一般貸切旅客自動車運送事業の事業計画には、事業用自動車の長さ、幅、高さについても記載することになっている。(×)

- (3) 事業者は、事業用自動車に車掌を乗務させる必要はない。(×)

- (4) 旅客自動車運送事業者は前年四月一日から三月三十一日までの期間に係る事業報告書を提出しなければならない。(×)

- (5) 旅客自動車運送事業者は、その住所が変更になった場合、その所有する事業用自動車について、道路運送車両法の規定に基づき、変更登録の申請をしなければならない。(○)

- (6) 旅客自動車運送事業者が公表すべき輸送の安全にかかわる事項について、下記の中で正しい事項には○印を、そうでない事項には×印を () 内に記入しなさい。
 - ①輸送の安全に関する基本的な方針 (○)
 - ②輸送の安全に関する目標又はその達成状況 (×)
 - ③自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計 (○)

- (7) 一般貸切旅客自動車運送事業に従事する自動車運転者の1日の拘束時間は、13時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、最大拘束時間は18時間とすること。この場合において、1日についての拘束時間が15時間を超える回数は1週間につき2回が限度である。
(×)
- (8) 事業者は、旅客に対し収受した運賃又は料金の割戻しをしてはならない。ただし、天災の場合はこの限りではない。
(×)
- (9) 事業者は、乗務しようとする運転者に対して点呼を行い、事業用自動車の運行の安全を確保するために必要な指示を与えなければならない。
(○)
- (10) 一般旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の車庫の収容能力を15㎡広くした場合、車庫の位置に変更が無ければ、事業計画の変更の手続きは必要がない。
(×)
- (11) 事業者は、その事業用自動車非常信号用具、非常口又は消火器を備えたものであるときは、当該自動車の乗客に対し、これらの器具の取扱いについて適切な指導をしなければならない。
(×)
- (12) 事業者は、年齢、運転の経歴その他政令で定める一定の要件を備える者でなければ、その事業用自動車の運転をさせてはならない。ただし、当該運行が旅客の運送を目的としない場合は、この限りではない。
(○)
- (13) 事業者の運行管理者が行わなければならない事項として、法令で定められた事項には○印を、そうでない事項には×印を()内に記入しなさい。
- ①乗務員台帳を作成し、営業所に備え置くこと (○)
 - ②自動車事故報告規則に基づく、事故報告書を提出すること (×)
 - ③事業用自動車の運転者に法令で定める適性診断を受けさせること (○)
 - ④運行管理規程を作成すること (×)
 - ⑤運送引受書を交付すること (×)

- (14) 一般旅客自動車運送事業者（路線定期運行を行う一般乗合旅客自動車運送事業者を除く。）は、その事業を休止し、又は廃止しようとするときは、その三十日前までに、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。

(○)

【選択問題】

次の文章の（ ）の中にあてはまる言葉を下から選び、記号を記入しなさい。

1点×15=15点

- (1) ①この法律は、貨物自動車運送事業法と相まって、道路運送事業の運営を適正か合理的なものとする事により、道路運送の利用者の（ク）を保護するとともに道路運送の総合的な発達を図り、もって（テ）を増進する事を目的とする。※文中の「この法律」とは、道路運送法のことです。

②一般旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車が転覆し、（キ）を起こしその他国土交通省令で定める（サ）を引き起こしたときは、遅滞なく事故の種類原因その他国土交通省令で定める事項を国土交通大臣に届出なければならない。

③一般旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の（オ）の確保に関する業務を行わせるため、国土交通省令で定める（タ）ごとに、運行管理者資格者証の交付を受けている者のうちから、（イ）を選任しなければならない。

- | | | | | |
|-----------|----------|----------|----------|----------|
| ア. 所有権 | イ. 運行管理者 | ウ. 出発地 | エ. 保安基準 | オ. 運行の安全 |
| カ. 技術の向上 | キ. 火災 | ク. 利益 | ケ. 迅速 | コ. 走行距離 |
| サ. 重大な事故 | シ. 運営を適正 | ス. 目的地 | セ. 点検 | ソ. 継続 |
| タ. 営業所 | チ. 公害の防止 | ツ. 適切な時期 | テ. 公共の福祉 | ト. 保護 |
| ナ. 乗務員の服務 | | | | |

- (2) 旅客自動車運送事業者は、旅客又は公衆に対して、（ア）かつ懇切な取扱いをしなければならない。

ア. 公平 イ. 親切 ウ. 丁寧

- (3) 旅客自動車運送事業者は、その使用する自動車について重大事故があった場合には、（イ）以内に自動車事故報告書を国土交通大臣に提出しなければならない。

ア. 十五日 イ. 三十日 ウ. 六十日

(4) 大型自動車使用者等は、整備管理者を選任したときは、その日から（イ）以内に、地方運輸局長にその旨を届け出なければならない。

ア. 十日　イ. 十五日　ウ. 三十日

(5) 事業者は、運賃又は料金を収受したときは、運賃又は料金の（カ）を記載した（ア）を発行しなければならない。

ア. 領収証　イ. 公示額　ウ. 支払時期　エ. 運送引受書
オ. 運行指示書　カ. 計算基礎　キ. 適用方法　ク. 見積額

(6) 旅客自動車運送事業者は、（ア）以内の期間を定めて使用される者を事業用自動車の運転者として選任してはならない。

ア. 二月　イ. 六月　ウ. 一年

(7) 貸切バスの運転者は、事業用自動車の故障等により踏切内で運行不能となったときは、速やかに旅客を誘導して退避させるとともに、（イ）に対し適切な防護措置をとらなければなりません。

ア. 旅客　イ. 列車　ウ. バス

(8) 乗務記録の保存期間は（イ）間となっている。

ア. 6ヶ月　イ. 1年　ウ. 2年

【筆記問題】

1点×5＝5点

(1) あなたが経営しようとする一般貸切旅客自動車運送事業は、道路運送法においてどのような事業とされているか正確に記入しなさい。

答. 一個の契約により国土交通省令で定める乗車定員以上の自動車を貸し切って旅客を運送する一般旅客自動車運送事業

(2) 次の文章の（ ）の中にあてはまる語句を回答しなさい。

一般貸切旅客自動車運送事業者は、運送の申込者に対して当該運送の引受けに際し（ ）又はこれに類するものを支払った場合には、その額を記載した書類を、前項の運送引受書の写しとともに、当該運送の終了の日から一年間保存しなければならない。

答. 手数料

